



総合リース・レンタルシステム Lease&Rental System for Windows

☆☆☆ シミュレーションオプション ☆☆☆

未来予測 予測入力で未来の収益を月別・年度別に出力。
予測と実績を組合わせて予算計画を支援。

◎様々なケースを現実に近い値で未来予測が可能

☆ 基本コンセプト ☆

リース会社が未来の収益を予測する場合、過去の収益を元に今後の顧客のニーズ、リース会社の諸事情など様々な要素を加味して、未来の収益計上を予測することが必要になります。

収益を計上する上で売上・減価償却・前払費用といった売上と原価の関係や入金・支払の関係を考慮して未来の収益を予測する必要があります。また、現在の契約が今後解約する場合や再リースする場合も考慮する必要があります。

しかし、実際は過去の収益を元に全体から予測値を割り出して収益を予測しているのが現実ではないでしょうか。

そこで、当社のシミュレーション処理では、実際に今後新規に発生予定のモデルケースを想定して、月別に発生件数を設定することにより、現実に近い値で未来の収益をシミュレーションすることが出来ます。

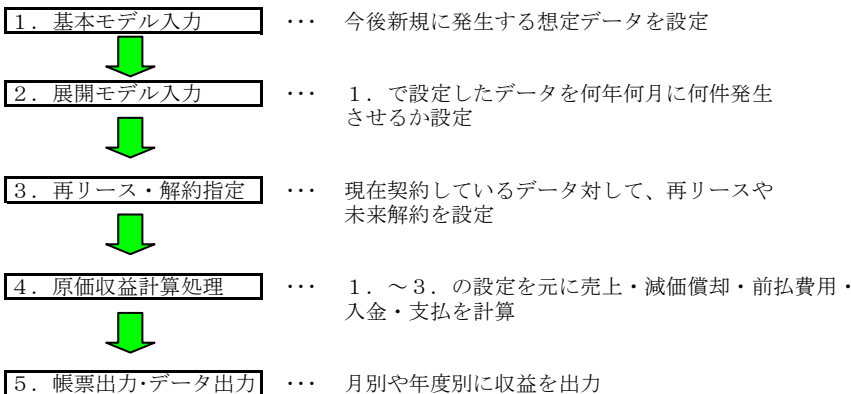
主な収益の計上科目として売上・減価償却・前払費用・入金・支払を月別・年度別に作成します。

また、当社リース業務向け基幹パッケージシステム「Lease & Rental System for Windows」のオプションとすることで、実際のデータを解約させたり、再リースさせることが出来るので現実に近い未来の収益計上を求めることが可能になります。

◎システムの特長

- 1 契約形態に準じた必要最低限の入力で未来の会計上の収益を予測します。
- 2 再リース発生率や解約件数を設定して、全体の発生率（割合）からシミュレーションすることが可能です。
- 3 再リースや解約を設定する場合、割合ではなく具体的に契約単位に未来の再リースや未来解約を設定して、より現実に近い数値で予測することも可能です。
- 4 重量税や自賠責といった長期に渡って費用計上するデータにも対応しています。
- 5 最大5年間分の未来収益を予測することが可能です。
- 6 予測データは保存できるので、次のシミュレーションを行う時に再利用が出来ます。
- 7 未来の収益を見る場合に、年度別やある年度を月別に見ることが出来ます。
- 8 契約単位にシミュレーションを行うので、結果は契約単位に確認出来ます。
- 9 シミュレーションした結果を、CSVファイルやEXCELファイルに出力して、データで結果を確認することが可能です。

◎シミュレーション処理の流れ



画面サンプル（基本モデル入力）



画面サンプル（展開モデル入力）



画面サンプル（計算処理画面）



帳票サンプル（年度別）



注) LSWは、株式会社リースシステム企画開発・販売のリース・レンタル業務向け基幹パッケージシステムです。

LSP 株式会社 リースシステム企画
 〒333-0851
 埼玉県川口市芝新町4-6 YS TOWER 5F
 TEL 048-263-1733 / FAX 048-269-1745
 E-mail : lsp@lease-system.co.jp
 URL : http://www.lease-system.co.jp/

販売代理店

※) Microsoft, Windowsは、米国マイクロソフト社の登録商標です。
 ※) 記載の内容及び製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。